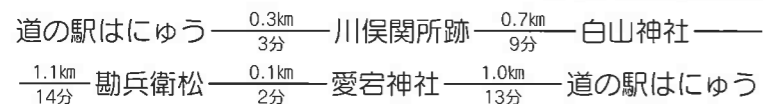


新郷・道の駅西コース

歩行距離/3.1km
歩行時間/41分

かつては宿場町として栄えた上新郷。村には大名が宿泊するための本陣がありました。江戸城を守るために設けられた関所跡、通りを飾る松並木、江戸の歴史を感じる所縁の地を巡ってみませんか…



①道の駅はにゅう

利根川と日光連山が見事に融合した自然豊かな駅です。物産館では地元の生産者による新鮮な野菜のほか、郷土料理百選に選ばれた名物いがまんじゅうや羽生市のキャラクターグッズ等も販売しています。

営業時間
8:30~20:00
休日
1月1日
TEL
048-560-1010



Check!!

夕日の美しい道の駅

天候がいい日には富士山を見ることができます。また、夕刻に赤く染まりゆく景観は素晴らしく、大自然の素晴らしさを改めて実感させてくれます。



②川俣関所跡

慶長の年に設けられ、江戸と両毛を結ぶ要衝として重要な取り締まりが行われました。江戸に人質となっている諸大名夫人の脱出を防ぎ、また江戸の安全のために鉄砲の取り締まりが行われました。

③白山神社

川俣関所跡から土手沿いにしばらく西へ進むと見えてくる小さな神社です。江戸時代初期に建てられたこの社は戦国武将・加藤清正によって創建されたという伝説が残っています。個性的な狛犬が出迎えてくれます。



④勳兵衛松

上新郷の宿通りから利根川に通ずる道の西側にある松並木です。寛永5(1628)年徳川家光が日光社参のおり、忍城主・関東郡代大河内金兵衛が武士・勳兵衛に植えさせたものといわれています。明治8年には69本あったとされていますが、現在は1本を残すだけとなりました。



⑤愛宕神社

かつて、刀と鎧が出土したと伝えられている「愛宕山古墳」は、高さ2.5mあり、古墳の頂上には愛宕神社が鎮座しています。

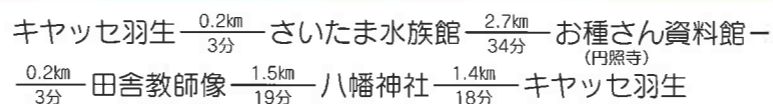


道の駅には美味しいレストランもあるよ
ムジナもん

三田ヶ谷・キヤッセコース

歩行距離/6.0km
歩行時間/77分

小林秀三が務めた弥勒高等小学校の跡地、お種さんの資料館など田舎教師ゆかりの地を巡ることができます。また、キヤッセ羽生・さいたま水族館といった施設もあり、羽生の土地を楽しむことができます。



①キヤッセ羽生



開園時間
公園
10:00~17:00
むじな庵
11:00~15:00
定休日
月曜日
(月曜が祝日の場合翌日)
TEL
048-565-5255

麦芽100%で造る地ビール工房、地元新鮮な食材を利用したレストランなど羽生の恵みを堪能できます。また野菜の収穫体験や、いがまんじゅう、うどんなどの体験教室も開催しています。

いがまんじゅうをぜひ食べてみてね



②さいたま水族館

全国でも珍しい淡水魚を専門に展示している水族館です。県内に住む87種類のうち、70種類を中心に展示し解説しています。国内種だけでなく、世界の有名な熱帯魚なども展示しています。また庭園の池には、錦鯉をはじめ、1mを超えるソウギョなどもいて、エサを与えられ合うことができます。

開館時間
9:30~17:00
(12~2月は16:30まで)
定休日 月曜日
(月曜が祝日の場合翌日)
12/29~1/1
TEL
048-565-1010
入館料
大人300円
小人100円



③お種さん資料館(円照寺)



田舎教師の小説「田舎教師」に登場する「お種さん」は、主人公の勤める学校近くの料理屋「小川屋」の娘小川ネンさんがモデルでした。ネンさんのお墓がある円照寺境内には、お種さんゆかりの品々や、田舎教師関連の資料が展示してあります。

④八幡神社



誉田別命を祭神とする騎乗八幡神像を祀っています。その創建については記録は残っていませんが、190年余りの歳月を経ていると推定されています。連続した3つの鳥居が、特別な趣を感じさせます。

④田舎教師像



弥勒高等小学校跡地にある、「田舎教師」の主人公・小林秀三の等身大ブロンズ像です。羽織袴に鳥打帽子をかぶり、風呂敷の包みを持ち正面を見ず立っています。秀三は中学校卒業後、三田ヶ谷村の弥勒高等小学校の准教員として教鞭をとりました。

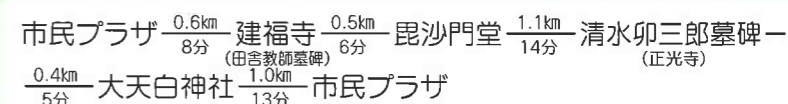
Column コラム

「四里の道は長かった…」で始まる小説「田舎教師」は、羽生の地を舞台に描かれた田舎教師の名作です。20歳の若さでこの世を去った青年教師の日記をもとに、一青年の夢・希望や、悲哀などの心情を描いています。また、明治30年代の羽生の自然や風土、人々の生活が見事に描かれています。

羽生・街歩きコース

歩行距離/3.6km
歩行時間/46分

由緒ある神社、田舎教師ゆかりのお寺など、街の中なのに趣を感じる場所が多く存在しています。市民プラザでは、羽生市の伝統工芸・藍染体験もできます。工芸体験と街中散歩で羽生の魅力を感じてみてください。



①市民プラザ



開館時間
8:30~22:00
資料館
8:30~17:00
藍染め体験
10:00~15:00(要予約)
TEL
048-560-3111

子供からお年寄りまで、集い、憩い、学べる多彩な施設です。小さなお子さんと遊べる「親子ふれあいスペース」、藍染を体験できる「藍染工房」や田舎教師の小説「田舎教師」の資料展示室もあります。プラザ通りでは、7月中旬に夏まつりが行われ、11基の神輿と2台の山車が通りを歩きます。



③毘沙門堂



伝説によると鎌倉時代の建長8年(1256)に北条時頼が創建したとされています。毘沙門山古墳という前方後円墳の上に建てられていて、そのすぐ下に毘沙門堂があります。古墳が造られたのは6世紀後半と考えられています。

②建福寺(田舎教師墓碑)

小説「田舎教師」の主人公のモデルになった小林秀三のお墓があります。秀三は旧本堂に約1年間宿していました。また、本堂の中には秀三の肖像写真などがあります。作品中では、成願寺という名前が登場しています。



Column コラム

縁起の良いお地藏様
毘沙門堂の境内には出世地藏尊という地藏があります。首なし地藏の状態で土の中に埋まっていたものを昭和7年に掘り出して建てられました。埋もれていた地藏が世に出てきたということで、出世地藏尊として祀られています。

⑤大天白神社

羽生城主・木戸忠朝の夫人が安産祈願のために勧請し創設されました。以来、安産子育ての神として信仰されています。隣接する公園は藤の名所でもあり、噴水庭園を囲む藤棚は見ものです。また、11月頃には、菊花大会も開かれ多くの来客で賑わいます。



④清水卯三郎墓碑(正光寺)



幕末から明治にかけて世界を回った、国際交流の先駆者ともいえる人物です。1867年のパリ万国博覧会に日本の商人としては唯一参加して、日本の文化を世界に紹介しました。明治43年82歳で生涯を終えた卯三郎は、浅草の乗満寺に葬られましたが、平成10年に正光寺に移されました。

藤は5月上旬頃が見ごろじゃ



ザリガニ博士

道の駅・東コース

歩行距離／1.6km
歩行時間／20分



道の駅はにゅう $\frac{0.1km}{2分}$ 川俣締切跡 $\frac{0.6km}{7分}$ 利根川土手沿い・北河原用水路沿い $\frac{0.9km}{11分}$ 道の駅はにゅう



◆川俣締切跡

水運の発達に貢献
文禄3年(1954)、徳川家康の命令により小笠原三郎左衛門が会の川筋を締めきる工事を行い、それまで分流していた利根川の主流を締めきり、流路を変えました。

利根川東遷の最初の工事なんだぜ



いたっち

◆羽生スカイフェスタ

色とりどりの気球が大空を舞う

利根川土手の昭和橋下流付近では、県内唯一の公認熱気球大会が行われ、約20基もの気球が大空に飛び立ちます。また、気球の体験搭乗などのイベントもあります。



色鮮やかに美しく舞う鶴

しらすぎ婦人

◆その他・みどころ



◆葛西用水路沿い桜並木

夜桜を鑑賞できる桜の名所

約300mにもわたる桜並木は、まるで花のトンネルを歩いているような感覚です。桜まつり期間中は、夜にライトアップされ幻想的な美しさを感じられます。



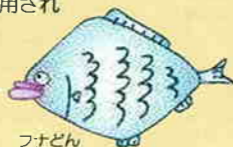
イナゴージャス

約120本も並んでいて、よみがえり

◆葛西親水公園

とても美しい水辺空間

葛西用水路旧取入口跡を整備した公園で、江戸時代に作られた取入口が復元されています。豊かな緑のほかに、公園の3分の1を占める大きな池があり、地域住民の憩いの場として利用されています。



のんびりするのに最高どん

フナどん



イベントカレンダー

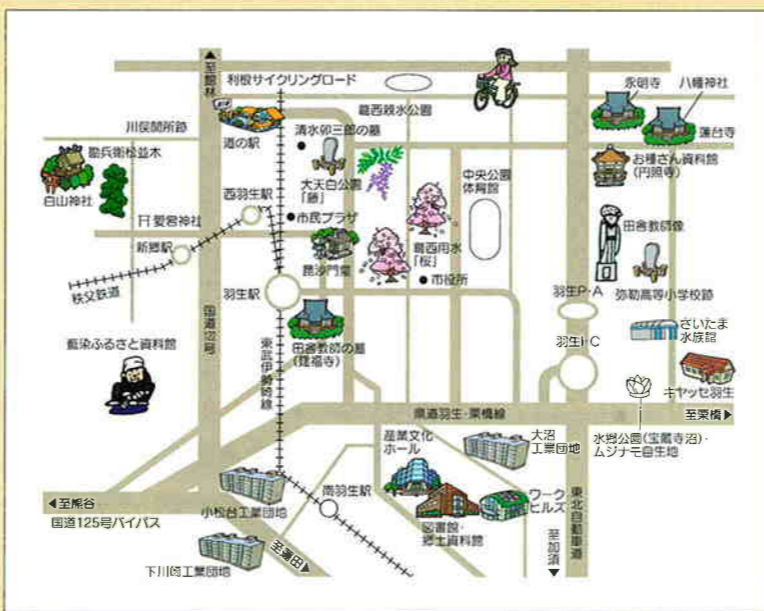
3月	上旬	市民マラソン	10月	上旬	わくわく公園まつり
4月	上旬	桜まつり	第3日曜日	市民体育祭	コスモスまつり
	下旬	藤まつり(大天白神社)		下旬	福祉健康まつり
5月	上旬	スカイフェスタ	3日	商工まつり	
	中旬		11月	上旬	菊花大会
6月	上旬	わくわく公園まつり		中旬	農業まつり
	30日	初山詣(浅間神社)	12月	25日	西の市(天満宮神社)
7月	1日	夏まつり			

羽生市へのアクセス

電車で... 東武伊勢崎線 浅草駅より 約80分(羽生駅下車)
秩父鉄道 熊谷駅より 約20分(")

お車で... 東北自動車道 浦和ICより 約30分(羽生IC out)

羽生マップ



発行 羽生市商工観光課

〒348-0058 羽生市中央3丁目7番地5号
TEL 048-560-3111 FAX 048-560-3110
市ホームページ <http://www.city.hanyu.lg.jp/>

はにゅう のんびり散歩 ガイドブック



ようこそ!